



水道 GLP 認定証授与式（3月18日）

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した長岡市水道局（認定番号：JWWA-GLP119）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



第732回抄録委員会（3月11日）

本誌6月号及び7月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。



第45回 IWA 日本国内委員会（3月12日）

2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会の開催報告の後、理事会や戦略評議会への参加や次期 IWA 戦略計画（2019-2024）といった IWA の最近の動きについて報告があった。続いて、IWA 関連のワークショップや会議の参加報告と開催告知が行われた。

また、審議事項では、2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会開催国委員会の協賛金残額を譲り受けることを了承し、主に水分野の若手の国際活動に関する支援等に活用することとなった。



水道 GLP 運営委員会（3月14日）

第15回水道 GLP 運営委員会（委員長 松井佳彦北海道大学大学院教授）を開催し、水道 GLP の審査・認定状況等を報告した。委員会では、水道 GLP システムの運用開始から14年目を迎え、137箇所が認定され、日本の水道水質検査機関の検査結果の信頼性向上に役立っていることを確認した。

今後もより一層のシステム全体の点検を行うとともに、「公平・中立・平等」の基本理念に沿って、認定機関の増加に対応すべく審査の効率化や審査技術の向上に努め、水道 GLP を更に進展させるようにとの意見が出された。



第7回地震等緊急時対応特別調査委員会（3月18日）

報告事項1「大阪府北部を震源とする地震被害に係るアンケート結果」、報告事項2「平成30年北海道胆振東部地震における日本水道協会の対応」について、事務局より報告があった。

続いて、審議事項「日本水道協会全国地震等緊急時訓練 平成30年度応援訓練報告書」について審議を行い、委員からの意見に基づく修正等を委員長一任とし、了承した。



第140回水道 GLP 認定委員会（3月19日）

水道 GLP 認定について、豊橋市上下水道局（JWWA-GLP141）が新規認定検査機関として審議され決定された。

また、一般財団法人東海技術センター（JWWA-GLP023）、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター（JWWA-GLP024）と水戸市水道部（JWWA-GLP072）が認定更新検査機関として、長崎市上下水道局（JWWA-GLP047）、山形市上下水道部（JWWA-GLP048）、一般財団法人宮城県公衆衛生協会（JWWA-GLP095）と株式会社総合環境分析（JWWA-GLP096）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

第253回衛生常設調査委員会（3月22日）

最近の水道水質管理の動向について、厚生労働省柳田水道水質管理官から、今後の水道水質基準の検討（六価クロム化合物）、農薬類の評価値の見直し及びクリプトスポリジウム対策における地表水へのUV適用等の説明があった。

その後、審議事項について、JWWA規格K127（水道用ポリアクリルアミド）及びJWWA規格K162（水道用過酸化水素）の制定を審議し、承認した。また、水道用濾材（JWWA A 103）の水道用汙過砂の品質について、強熱減量の品質規定値を緩和することを審議し、了承した。

続いて、突発水質汚染の監視対策指針改訂委員会の報告に対して、改訂版の最終素案を確認した。水質試験方法等調査専門委員会の報告では、上水試験方法（2011年版）の改訂作業の状況並びに無機物部会、有機物部会及び微生物・生物部会の審議状況について確認を行った。



第191回工務常設調査委員会（3月25日）

冒頭、芦田工務部長の挨拶の後、「JWWA規格の改正等の案件」について審議した。このほか、「機械・電気・計装専門委員会」について専門委員会委員長から報告を行った。

また、「配水管工技能講習会受講料の改定について」、「給水用具の維持管理指針改訂専門委員会について」、「有効率の取扱いについて」、「水道法の改正について」、「ISO/TC224等上下水道関連国際標準化の動向について」、「水質の最新情報について」事務局より報告を行った。



第42回認証制度運営委員会（3月26日）

吉田理事長の開会挨拶の後、議題として「品質認証組織規則」等の改正について審議し了承された。続いて報告事項として、「平成30年度認証登録件数及び収入」、「平成30年度品質認証業務マネジメント・レビュー」、「平成30年度認証登録の一時停止」、「平成30年度認証審査委員会の審議結果」、「平成30年度試買検査の結果」、「平成30年度判定委員会における審議結果」について事務局から報告を行った。



平成30年度第5回理事会（3月27日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討状況」、報告事項3「水資源機構との『災害時における支援活動に関する協定』の締結」、報告事項4「東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた給水支援等」、報告事項5「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会との『災害時における宿泊施設の情報提供に関する協定』の締結」、報告事項6「総務部企画室の廃止」について、それぞれ事務局から報告があった。



続いて第1号議案「会員の入会」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会平成31年度事業計画書及び収支予算書の承認」、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第94回総会の開催及び開催通知の送付」、第4号議案「平成31年度水道イノベーション賞」、第5号議案「地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会の設置」についての5件が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

第140回事務常設調査委員会（3月27日）

はじめに、審議事項1「正・副委員長の互選」について、委員長には広島市水道局平尾委員、副委員長には東京都水道局松丸委員、福岡市水道局曾根田委員をそれぞれ選出した。

続いて、審議事項2「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方と料金案事例集」について、原案のとおり了承された。

続いて、審議事項3「水道事業の公費負担のあり方について（平成10年）の見直し」について、見直すことが了承されるとともに、経営調査専門委員会に付託することを決定した。

続いて、報告事項1「改正水道法の国の動向等」、報告事項2「水道法逐条解説の改訂」、報告事項3「各専門委員会の開催状況」、報告事項4「平成28年度水道統計」、報告事項5「開発負担金の徴収状況」、報告事項6「地震等緊急時対応特別調査委員会経過報告等」について、それぞれ事務局から報告を行った。



第974回会誌編集委員会（3月27日）

本誌4月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

第31回 JIS 製品認証業務運営委員会（3月28日）

はじめに、議題1「正副委員長の互選について」を事務局より上程し、委員長に東京都水道局の狩野建設部長、副委員長に水道バルブ工業会の矢倉専務理事がそれぞれ選出された。

次に、議題2「第30回 JIS 製品認証業務運営委員会議事録について」を事務局より説明し、了承された。

次に、議題3「JWWA-001 製品認証業務マニュアルの改正について」を上程し、慎重審議の結果、了承された。

続いて、「平成30年度製品認証の業務報告について」を含めた9件の報告事項について事務局より報告を行い、了承された。



第100回検査事業委員会（3月28日）

はじめに、議題1「第99回検査事業委員会議事録について」を事務局より説明し、了承された。

次に、議題2「検査施行要項の改正について（①水道用仕切弁検査施行要項、②水道用タールエポキシ樹脂塗料塗装方法検査施行要項、③水道用サドル付分水栓検査施行要項、④水道用ポリエチレン管サドル付分水栓検査施行要項）」が上程され、検査施行要項等専門委員会委員長の塩見大阪市水道局工務部技術監理担当課長より専門委員会の審議結果について報告並びに説明を行い、慎重審議の結果、了承された。



JWWA 規格 K 162（水道用過酸化水素）の制定（3月31日）

水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会で調査・検討を行い、衛生常設調査委員会の了承を得て、JWWA 規格 K 162として制定した。

JWWA 規格 K 163（水道用ポリアクリルアミド）の制定（3月31日）

水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会で調査・検討を行い、衛生常設調査委員会の了承を得て、JWWA 規格 K 163として制定した。この制定に伴い、排水処理に用いるポリアクリルアミドの JWWA 規格 K 126（水道用ポリアクリルアミド）を、平成31年3月30日付で廃止した。

水道協会雑誌平成31年4月号掲載記事の訂正について

本誌平成31年4月号に掲載いたしました「支部だより」及び「水道協会雑誌5月号主要目次（次号の予定）」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

・「支部だより」（巻頭掲載）

関東地方支部の行事予定について

〈正〉

支部名	日時	行事名	開催地
関東地方支部 (045) 633-0130	2019/4/中旬	決算監査	甲斐市 昭島市
	2019/5/下旬	水質研究発表会運営委員会	東京都
	2019/5/下旬	第1回防災連絡協議会	未定
	2019/6/中旬	第1回幹事会	横浜市

〈誤〉

支部名	日時	行事名	開催地
関東地方支部 (045) 633-0130	2019/5～随時	技術継承研修	横浜市 東京都
	2019/5/下旬	防災連絡協議会	横浜市
	2019/6/下旬	幹事会	横浜市
	2019/8/2	関東地方支部総会	甲府市

・「水道協会雑誌5月号主要目次（次号の予定）」（122頁）

「☆投稿原稿」の2つ目の事例報告の執筆者について

〈正〉

○「事例報告」荒川に発生した河床付着性藍藻類の生息域拡大及び2-MIB濃度の変化
 三上 雅人 ほか

〈誤〉

○「事例報告」荒川に発生した河床付着性藍藻類の生息域拡大及び2-MIB濃度の変化
 加登 優樹 ほか